

## 「世界自閉症啓発デー」に当たっての文部科学大臣メッセージ

平成28年「世界自閉症啓発デー」を迎えるに当たり、メッセージをお送りします。

本日4月2日に、「世界自閉症啓発デー」は9年目を迎えました。

また、日本では、本日から8日までを「発達障害啓発週間」として、自閉症をはじめ発達障害についての正しい理解の啓発に取り組むという活動を行っております。

文部科学省としても、発達障害のある子供一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育支援を行うことができるよう、関係機関が連携した特別支援教育の体制整備を進めているところです。

特に、本年4月1日からの障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に伴い、学校現場において「合理的配慮」の提供がより一層求められることも踏まえ、発達障害のある子供たちに対する支援に向け、引き続き注力してまいります。

この「世界自閉症啓発デー」を契機に、自閉症をはじめ発達障害のある子供たちが自らの持つ能力を存分に発揮できるよう、全ての教育関係者が、一人一人の子供たちを慈しみ育てる視点を再確認し、また、保護者の方々の気持ちに寄り添った支援について真摯に考え、実践していただきたいと強く願っております。

文部科学省としても国民の皆様と共に、全ての子供たちが、生き生きと充実した学校生活を送ることができるよう、より一層努力をしてまいります。

平成28年4月2日  
文 部 科 学 大 臣  
馳 浩